

タイムストリップ・エレクトロニック 2-8°C / TC489

Electronic Timestrip Complete 2-8°C TC489



デジタル温度インジケータTC489は、コールドチェーン2-8°C輸送中に温度逸脱がおこっていないかを確認できる温度管理ツールです。本体に搭載された3色のLEDライトによって輸送・保管中の閾値越えの有無を誰でも簡単に確認することができます。またLED表示に加え、TC489では使用後にNFC機能(近距離無線通信)を利用して、アラームの詳細状況をレポート形式で確認することも可能です。

TC489の特徴

- ・ NFCによりアラーム詳細情報を確認できる。
- ・ 不可逆性、ライトが点灯するため、閾値越えの有無が一目瞭然。
- ・ データロガーと比較するとコストを大幅削減可能。

使用事例

- ・ ワクチンの輸送および保管
- ・ 血液輸送と管理
- ・ 検査キットの輸送および保管
- ・ 製薬会社
- ・ 食品など

製品仕様1

サイズ	34mm x 48mm x 4.5mm
重量	6g
外装	防水ビニール入
バッテリー	コイン型リチウム電池 / CR1620
製品寿命	1年(1分間毎に温度測定をした状態で)
防水規格	IP54

LED表示の見方

動作状況	LEDランプ
正常起動	緑色に5回点灯 ●●●●●
待機中 (Start Delay 30分)	30秒毎に緑と赤のランプが点灯 ● ●
正常に作動中 (アラーム発生なし)	30秒毎に緑色に点灯 ●
8°C以上の閾値越えが発生	30秒毎に赤色に点灯 ●
2°C以下の閾値越えが発生	30秒毎に青色に点灯 ●
停止	赤色に5回点灯 ●●●●●
故障の可能性	ボタンを押してもLEDが点灯しない
メモリがいっぱいです	Button press with Green, Red or Blue LED flashes

製品仕様2

使用可能な温度環境	-30°C ~ 60°C
アラーム	下閾値: 2°C / 上閾値 8°C
温度精度	± 0.5 °C (-20°C~40°C), ± 1 °C (others)
センサ	NTCサーミスタ
ロガー種類	シングルユース(使い切りタイプ)
本体ボタン機能	本体右下の“READ”ボタンを押すと、現在の状態が左上にランプで表示
起動方法	本体上部分にある黒いタブを引っ張ると起動
Start Delay	起動後、30分経過してからモニタリングが開始
アラーム	累積で閾値を30分超えると直ちにアラームを発報
温度測定間隔	1分毎
レポート表示事項	使用開始時間、最高温度、最低温度、取得データ数 総測定時間、最終測定時刻、アラーム発生の有無 アラーム発生回数、アラームが発生時刻、 閾値越えをしたトータル時間
LEDランプの意味	緑色 / アラームは発生していません。 赤色 / 8°C以上の閾値越えが発生 青色 / 2°C以下の閾値越えが発生
事前校正	-20°C, +2°C, +8°C, 20°C, +40°C, 60°C
アラーム種類	不可逆性、一度でも閾値越えするとアラーム点灯

ご使用方法

1. 本体の“BREAK TO START”タブを壊すと緑色にLEDが5回点滅し、正常に起動したことをお知らせします。スタート遅延機能により、実際のモニタリングは起動後30分経過してから始まります。待機中は30秒毎に赤と緑のランプが交互に点灯します。この間にモニタリングを行いたい場所にTC489を設置してください。
2. 起動後30分が経過すれば、緑色のランプが30秒毎に点灯し通常モードでモニタリングがされていることを表示します。すぐに確認したい場合には、“READ”ボタンを押せばすぐにLEDランプが点灯します。
3. 8°C越えのアラームが発生すると赤いランプが30秒毎に点灯します。2°C以下のアラームが発生すると青いランプが30秒毎に点灯します。アラームは不可逆性です。累積で30分以上の閾値越えが発生するとアラームが発報されます。
4. 使用後、本体を停止させる際には本体左下分の“BREAK TO STOP”タブを壊してください。
5. TC489は本体だけでもデジタルインジケータとしてご利用頂けますが、専用アプリとNFC機能を利用すればアラーム情報やモニタリング結果に関する詳細をご確認頂けます。

専用アプリ取得方法:

下のQRコードからAPPをダウンロードして頂けます。

